

令和2年度 諏訪市男女共同参画審議会 会議報告

○開催日時 令和3年7月13日（火） 午後2時～4時

○出席者 委員14名中11名出席

○説明事項

- (1) 諏訪市男女共同参画審議会の委員の役割について
- (2) 諏訪市男女共同参画計画「男女いきいき諏訪プランVI」
令和2年度取組状況（実績報告）・令和3年度実施計画、目標数値
- (3) 委員会・審議会等への女性の参画状況（令和3年4月1日現在）
- (4) 令和2年度諏訪市いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA活動日誌

○議 題

諏訪市男女共同参画計画「男女いきいき諏訪プランVI」の取組状況について
質疑なし、全員一致で承認

○意見・提案

- ・行政の中に男女共同参画という考えが浸透し、前向きになってきたと感じる
- ・女性の管理職が増えたことは素晴らしいこと
- ・横の連携が出始めたことは良いこと
- ・イクボス宣言から3年経つが今後も活かしていきたい
- ・区の協議員に女性を登用することは、区長などに依頼しているのか。男性保育士が増えて、女性にない良さがあり対応も豊かになった
- ・地区に女性がいらない。女性の声が届かない。女性でも良いという環境がない
- ・区長は毎年代わる。続けることで区や自治会の男女共同参画が進んでほしい。昔に比べれば意識も変わってきている
- ・家庭内での役割分担が必要。保育士や介護職は所得が高くない。未だに女性の職場と
思われている。魅力ある仕事というPRも大切
- ・市内女性校長や教頭は増えた。50代で介護を理由に辞めていく職員がいる。介護は
育児と違って、いつまでやるかという期間が決まっていない。優秀な職員なのでもっ
たいない

- 男女共同参画の啓発活動について地方の新聞記事面は比較的掲載しやすいので、活用してみてもどうか。できる範囲で広報すわや地方紙を活用してみても
- 子が勤める会社では産休が取れない。上司や会社の理解が得られないからであり、取れる企業はまだ数が少ない。取れることがニュースになるようでは男女共同参画の意識はまだだと感じる。取っても当たり前という世の中になると良い
- 家庭内での役割分担がある。環境づくりが大切。産休、育休を社会がキャッチしてくれるようなバランスの取れた住みやすい社会が実現できれば良いと考える。
50代の男性にはまだまだその意識がない。若い人は、意識が変わってきている。妊婦健診に夫婦で行くのが当たり前になっている。子どものために休む時代が来ている